

平成24年2月

青方港大型客船入出港に伴う船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書の概要

本委員会では、青方港相河地区への2万GT級客船の入出港及び係留の安全性について調査検討し、必要な航行安全対策をとりまとめた。

入出港の安全性に関しては、入出港経路及び回頭水域について、有効可航幅並びに水深等について確認するとともに、船体に作用する風圧力等の外力影響と設置が計画されている空気式防舷材の吸収エネルギー等を調査し、2万GT級客船の許容接岸速度、接岸角度等を検討して安全な入出港が可能な気象・海象の外力等の条件について提案した。

また、空気式防舷材及び受衝板の設置位置、設置数並びに潮高との位置関係についても調査し、対象船舶の安全な接岸・係留を考慮した配置及び空気式防舷材1基を増設することを提言するとともに、対象岸壁における潮位と防舷材の関係から、安全に接岸・係留可能な潮位も確認した。

係留中の安全性に関しては、係船設備の整備を前提として、委託者から提供された資料をもとにOCIMFの計算手法を用いて安全に係留可能な条件の確認及び安全な係留方法を提案した。

2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 大型客船入出港計画の概要
- (3) 航行環境
- (4) 検討課題の抽出及び検討方針
- (5) 安全性の検討
- (6) 安全対策の策定